

注意！クマの目撃が増えています

交通防災防犯部

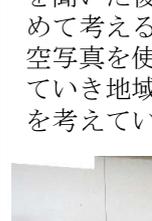
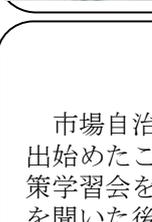
6月に入ってクマの目撃情報が増えていますので注意してください。
6月～8月にかけてクマの交尾時期となり雄グマの行動範囲が広がります。また、子熊の親離れ時期にもなります。
なお、3歳未満の子熊は母親と行動を共にしていますので子熊を見つけた時には注意をしてください。
クマの出没した個所を過去のものを含めて表示していますので参考にしてください。

北地区内ツキノワグマ出沒状況

2024/6/20

目撃および痕跡の場所

- 令和6年中の出没場所
- 令和5年の出没場所
- 令和4年以前の出没場所



獣害対策学習会を開催

市場自治会

市場自治会では、イノシシが田畑はもちろんのこと民家の庭先にも頻繁に出没し、子供や高齢者の人的被害の恐れも出始めたことから、庄原市とtegos（てごす）（一般社団法人広島県鳥獣害対策等地域支援機構）の協力による獣害対策学習会を開催し、第1回目（6月5日）に初級編と題してイノシシの生態、出没の原因、危険性と対策、について話を聞いた後、市場集落の現状についてワークショップで話し合いました。第2回目（6月15日）には、市場集落を改めて考えると題して、対策の進め方について話を聞いた後に、上・中・下の地域に分かれてワークショップを開催。航空写真を使った地図上に耕作放棄地やイノシシの出没カ所、ワイヤーメッシュ柵や電気柵など対策済みのカ所を記入していき地域の現状について話し合いました。今後の動きとしてはカメラを設置しイノシシの行動などを見たうえで対策を考えていくことにしています。



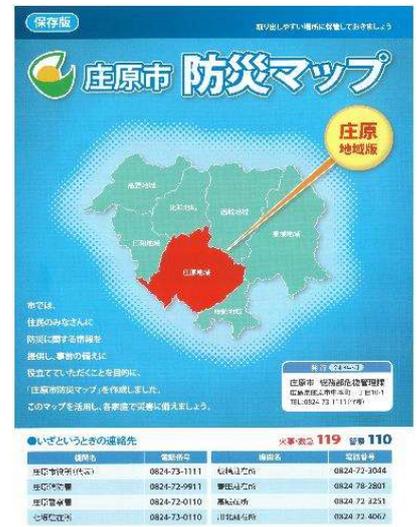
災害に備えて ～災害から命を守るために～ の説明を受ける

交通・防災防犯部

6月20日(木)自治振興区役員会の開会前に、市危機管理課松永係長から、出前トーク資料「災害に備えて ～災害から命を守るために～」により防災について分かりやすく説明を受けました。

“身を守るための3ステップ”として、①知る；普段の心構えとして「危ない場所を知る」②察知する；大雨になる前から「情報を集める」③行動する；危ないと思ったら雨が降っていなくてもできるだけ明るいうちに「避難する」。

方法としては、防災マップ（ハザードマップ）、天気予報や台風情報など、広島県の防災Web、キキクル（気象庁）、庄原市からの住民告知放送など、を確認する。



河川における避難情報発令基準(令和6年度変更)

庄原市では平成30年7月豪雨災害を踏まえて、住民へ早めの避難を促すために河川における避難情報の発令基準を国や県が示す基準より一段階早めた基準として運用してきました



その後、気象庁により、基準水位に到達する3時間前に予測が発表されるようになりました

気象庁の3時間前予測により、避難情報の発令について早めの判断が可能になったため、令和6年度の防災会議において、国や県が示す基準に合わせた見直しを行いました

【令和5年度までの基準】

基準水位	警戒レベル
氾濫開始相当水位	レベル5 緊急安全確保
氾濫危険水位	
避難判断水位	レベル4 避難指示
氾濫注意水位	レベル3 高齢者等避難



【令和6年度からの基準】

基準水位	警戒レベル
氾濫開始相当水位	レベル5 緊急安全確保
氾濫危険水位	レベル4 避難指示
避難判断水位	レベル3 高齢者等避難
氾濫注意水位	

「令和6年度防災パネル展」を開催

交通・防災防犯部

6月が『土砂災害防止月間』であり、過去の災害経験を忘れず、啓発活動を展開していくことが重要であることから、広島県北部建設事務所庄原支所主催、北自治振興区と庄原地域の庄原・東・敷信・峰田の4自治振興区、市危機管理課が共催で令和6年度防災パネル展を市役所1階市民ホールで開催し、広島県からは土砂災害防止に関するパネルを市危機管理課から避難グッズ等の展示、各自治振興区からは、自主防災組織の活動報告パネルの展示をしていただきました。

広島県・庄原市・各自治振興区(自主防災組織)が互いに連携、協力し合っていくことにより、より一層の取り組み成果が出ることを期待しています。

北地区においては、平成22年7月16日に発生した「庄原ゲリラ豪雨災害」から14年目を迎えます。平成26年8月に発生した「広島豪雨災害」、平成30年7月の「西日本豪雨災害」をはじめ、他県においても毎年大きな災害が発生しています。こうした過去の災害発生に直面した経験を無駄にせず、今一度、自分の住んでいるところはどうかを確認し、災害に備えていきましょう。



星空観察会のお知らせ

生涯学習部
子供育成部

星空観察会を開催しますのでご参加ください。

星座のDVDを見て勉強し、日が暮れて星が見えた頃にセンターの屋上で天体望遠鏡をのぞいて観察します。月や夏の大三角形をはじめ、たくさんの星座について学びましょう。

日時：7月27日(土) 19時00分～21時

場所：北自治振興センター

教えてくださる人：山本 正久さん(門田町中原)

※雨天時は、センターの会議室にて星座のビデオを鑑賞。

※お申し込みは、北自治振興センター

☎(80)72-0564まで。

昨年は天候不順でDVD鑑賞となりました。

写真は天体望遠鏡についての説明です。



水辺教室 水生生物観察会のお知らせ

環境衛生部

私たちの身近な水辺(河川)の生き物を親子や地域の人たちと一緒に観察を通して環境について学んでみませんか。川北川で水生生物や魚を取って、自治振興センターに持ち帰り、分類と観察をして水質など環境について学びます。

主催 北自治振興区

共催 庄原市公衆衛生推進協議会

日時 8月3日(土) 9:00～12:00

(受付 8:45～9:00)

場所 北自治振興センター

対象 庄原小学校の児童と保護者及び北地区の皆さん

参加費 無料

服装 濡れてもいい服と靴(サンダル・長靴は不可)

持参物 着替えと帽子、タオル、水筒

参加申込 北自治振興センター(☎72-0564)へ



三次市上田町を散策しました

北地区歩く会

6月22日(土)に三次市上田町を散策しました。歩いて健康づくりと懇親を深めるとともに見聞を深めるという当会の目的に沿って、毎月歩いています。

8時30分に北自治振興センターを出発し三良坂町長田を經由して「ほしはら山のがっこう」へ到着、ほしはら山のがっこうは2003年3月に三次市立上田小学校が閉校となり、そこを拠点とした任意団体上田町まちづくりセンターを開設し、ふるさと自然体験による交流事業や地域づくり活動などを重ねてこれ、2012年1月に**特定非営利活動法人ほしはら山のがっこう**として再スタートし、日帰り体験や宿泊体験など数々のイベントを実施、活動されています。がっこう周辺には山の中のほしはらの森、休耕田を利用した星の原っぱ、菜園、いきもの観察のため池、寝っ転がって星の観察ができる星空デッキ等々が整備されていました。その後、明神山の周辺をぐるっと一周(約3Km)し集落の様子も散策し、途中ではかわいらしいポニー2頭にも会うことができました。ここまで来たんだからということで、岡田山展望台へ足を伸ばしました。途中、親子のシカ2頭にも出会いました。帰途、川西郷の駅に立ち寄り、12時30分に帰館し有意義な歩く会となりました。

次回は、7月13日(土)8時30分に北自治振興センター集合で、三次町内を散策します。



第2回初夏の風コンサートを開催

生涯学習部

6月9日(土)旧川北小学校のグランドピアノ活用の取り組み、今回は新見ウインドアンサンブルさんによる吹奏楽コンサートを実施しました。「上を向いて歩こう」「名探偵コナン」「さんぽ」「東京ブギウギ」「演歌メドレー」「サザンオールスターズメドレー」「アイドル」などたくさんの曲を、楽しいお話と演出で会場一体となって楽しむことができました。ピアノ伴奏によるファゴットやオーボエのソロ曲も聞かせていただきました。一緒になって歌う方、ダンスして全身で楽しむ子供さんたちの様子に、演奏される新見の皆さんも喜んでおられました。

次回ピアノ活用の取り組みは、第3回目のピアノ体験会を7月13日(土)13:00~16:00(30分ごとの予約制で6組まで)に開催します。



アダプト制度で草刈り作業

茶屋自治会

広島県のアダプト制度に登録して6年続けています。高齢化で参加者も限られてきましたが、若手中心に元気を出して頑張っています。春・夏・秋の年3回の草刈りで、集まって作業すること顔を見て話をするを大切にしています。「地域の環境を自分たちで守る」この活動を続けていきたいと思っています。



モリアオガエムと卵塊下

